



施工説明書

HES1F-B型 薄枠丁番 アルミ薄枠セット

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 薄枠丁番HES1F-140型とストライクが組み込まれた、屋内建具用アルミ薄枠です。
- 二方枠限定となります。垂壁を設ける際はクロスを巻き込んでください。
- 別売の下地スペーサーを使用すると、ストライクと石膏ボードの干渉無く施工できます。
- 石膏ボードは12.5 mm厚をご使用ください。

本書の見方

- 本書は左吊元で説明しています。右吊元の場合は左右対称となります。



仕様

枠高さ	扉厚	扉幅	セット丁番数	耐荷重
2500 mm	36~45 mm	~900 mm	2ヶ	40 kgf
2700 mm			3ヶ	50 kgf

目次

部品構成……………P.2	施工手順……………P.6
納まり図……………P.3	調整方法……………P.12
施工前の確認………P.5	

正しく安全に施工していただくために

⚠ 警告・注意 ⚡ 禁止 ⚠ 厳守

⚠ 注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。



- ・ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- ・指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。扉や枠の反り、傾きやねじれは、故障の原因となります。
- ・アルミ枠の長さ調整（切断方法）は、P.5の記載内容にしたがって行ってください。それ以外の調整方法は行わないでください。
- ・本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認いただくとともに、使用者へ建具を安全に使用するための注意喚起もしてください。
- ・ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めをしてください（お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください）。
- ・2人以上で作業をしてください。扉の落下・転倒などでけがをするおそれがあります。
- ・軽量鉄骨・軽天など木材以外に取付ける際には、必ず枠との間に木柱を入れて取付けてください。
- ・施工時に電動ドライバーを使用する場合は、最後の締め付けは必ず手締めにて行ってください。



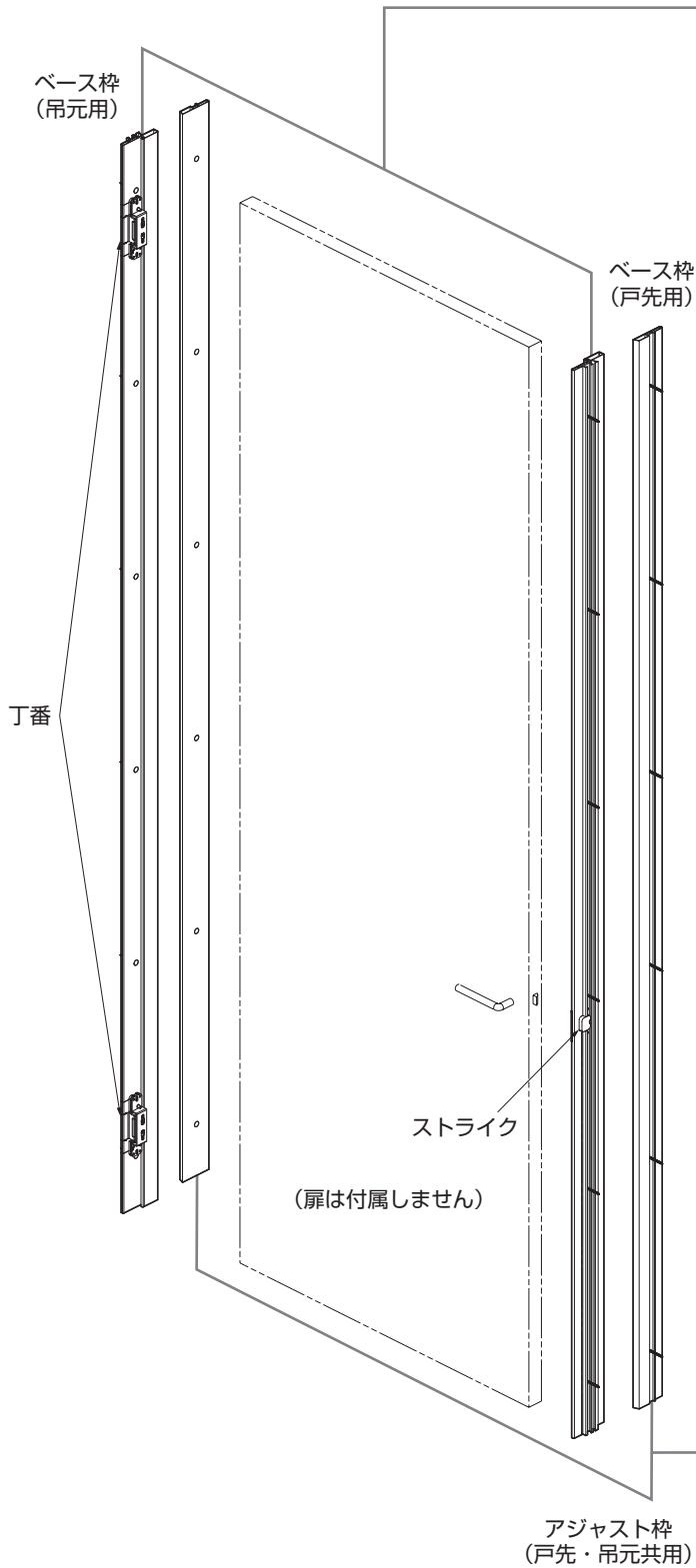
- ・本来の目的とは異なる使用方法や、本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ・本製品をたてかけないでください。また、高温高湿下で保管等を行わないでください。反りや外観不良の原因となります。
- ・アルコール・シンナー等の溶剤の使用は避けてください。
- ・扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。






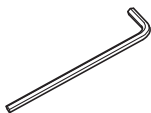
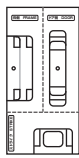


- ・かいもの（スペーサー）は躯体と同じ幅のものを使用してください。
- ・納品時に各部材を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付前にお買い求め店までご連絡ください。施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はご容赦ください。

ベース枠セット

調整タイプ **クロス巻き込みタイプ** に使用





部品		入数	
		2500 mm	2700 mm
ベース枠	吊元用	丁番付属 枠高さ 2500 mm…2ヶ 枠高さ 2700 mm…3ヶ	1本
	戸先用	ストライク 1ヶ付属	1本
カバー (扉側・枠側)		扉側  枠側 	2セット 3セット
取付ねじ	十字穴付 トラスタッピンねじ 4×40		12本
	十字穴付 なべタッピンねじ 4×16		8本 12本
枠用ねじキャップ			12ヶ
六角レンチ 呼び3			1ヶ
掘込加工テンプレート			1枚

※ケースロック、ハンドルは別売です。

アジャスト枠セット

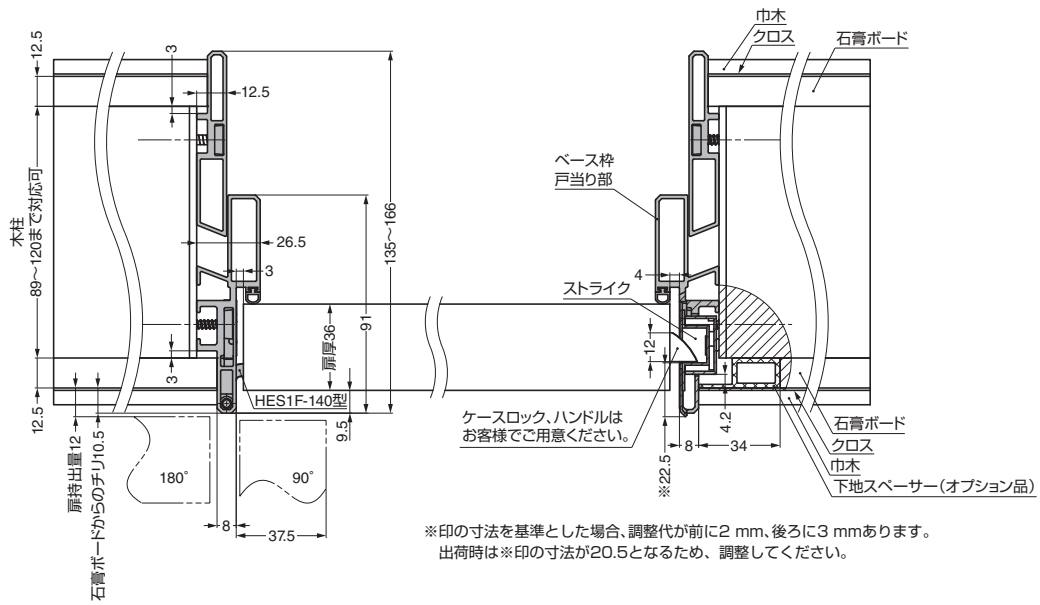
調整タイプ に使用

部品		入数
アジャスト枠 (戸先・吊元共用)		2本
取付ねじ	十字穴付 トラスタッピンねじ 4×40	 12本
枠用ねじキャップ		 12ヶ

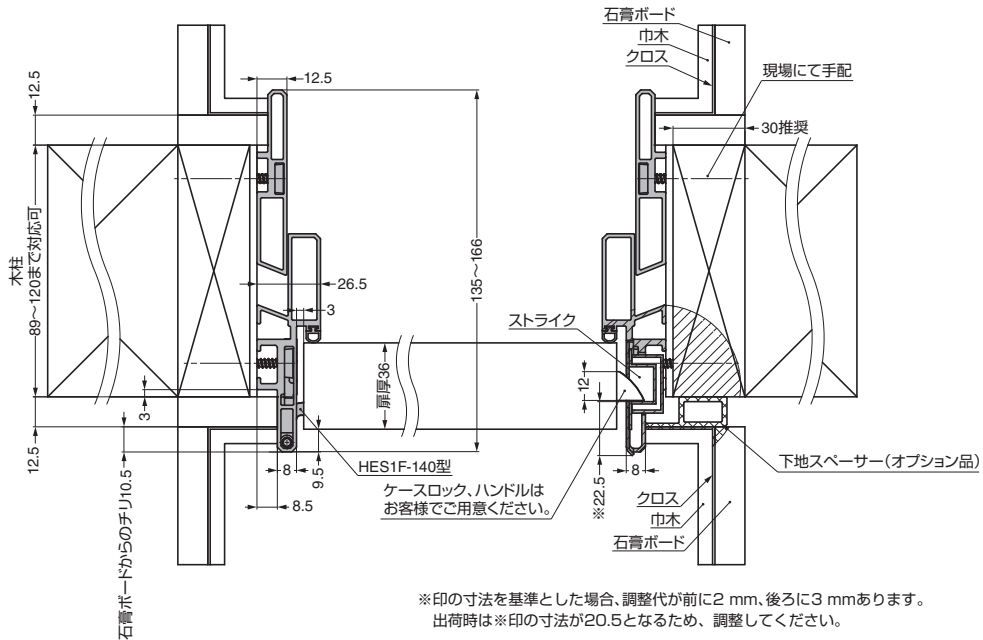
納まり図

調整タイプ

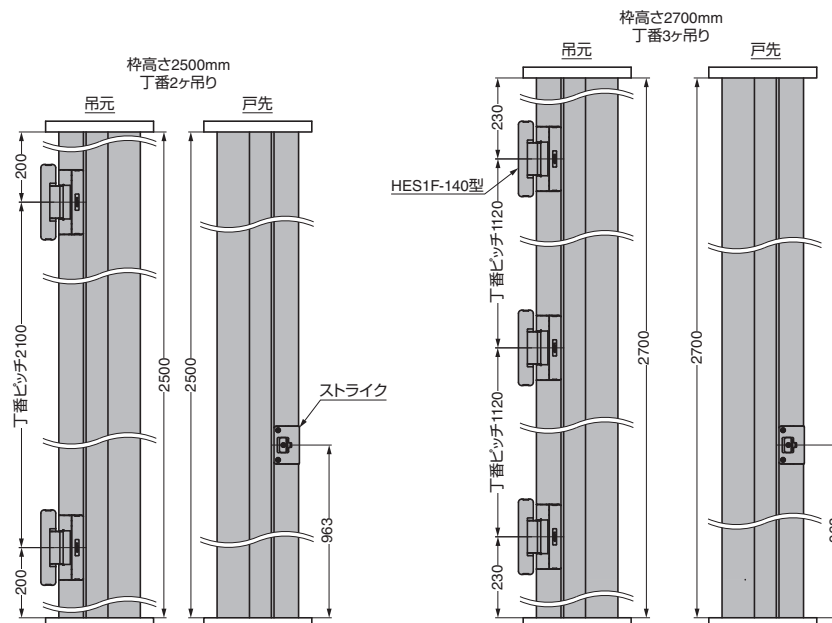
平入納まり



入隅納まり

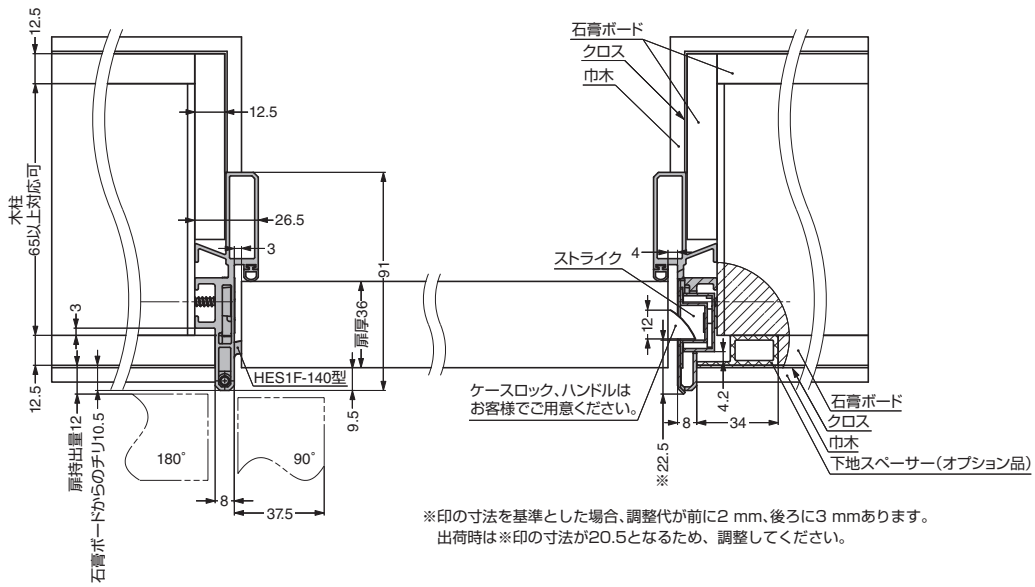


側面図

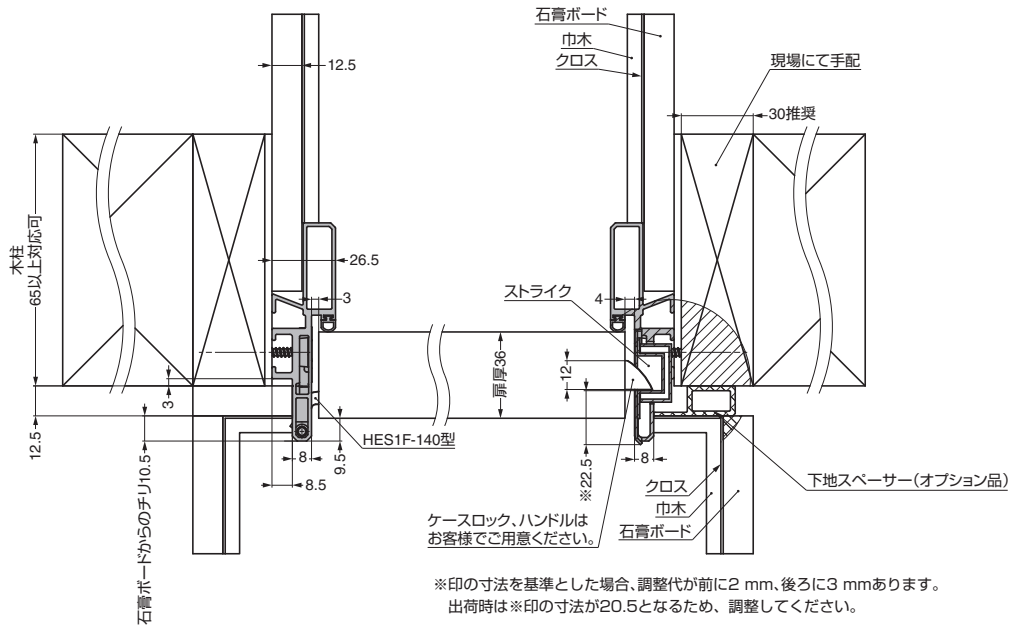


■クロス巻き込みタイプ

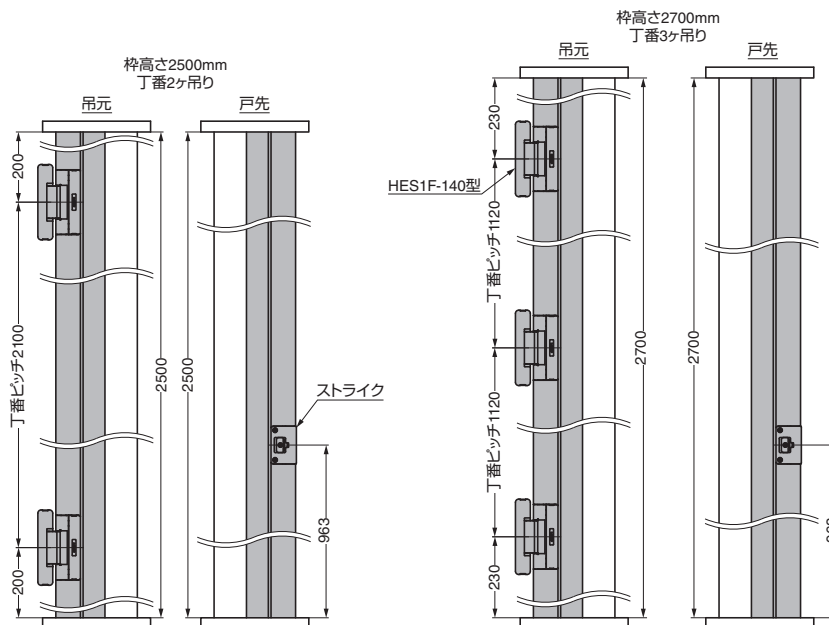
平入納まり



入隅納まり



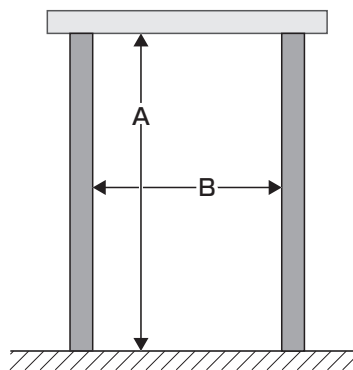
側面図



施工前の確認

■開口部の確認

調整タイプ・クロス巻き込みタイプ 共通



下げ振り、水準器等で水平垂直を取って計測してください。

開口寸法

A	枠全長+枠と天井のすきま量
B	扉幅+40 mm+スペーサー厚み分

■枠の長さ調整（切断方法）

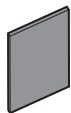
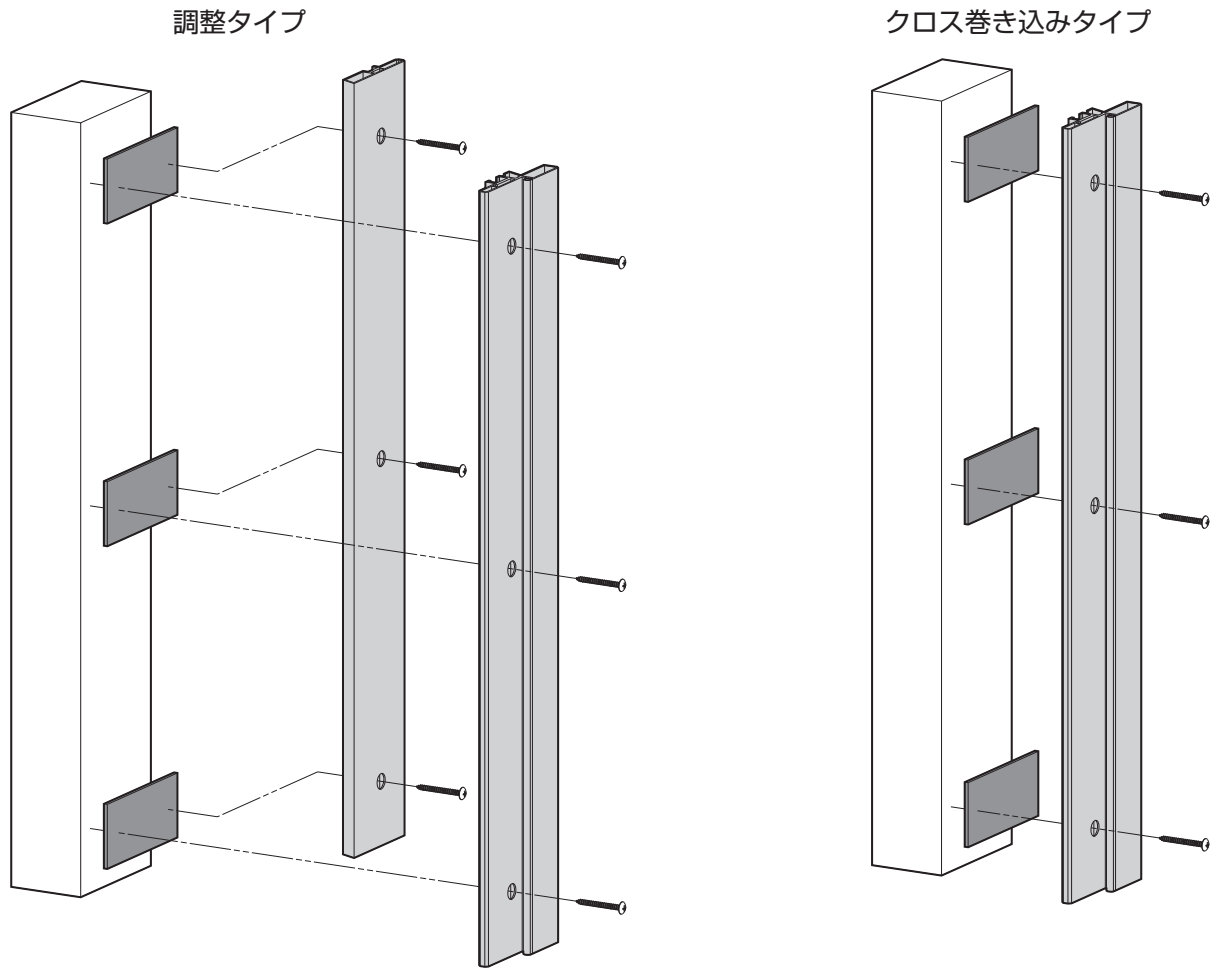
開口部に合わせて、枠の長さを調整します。

枠の種類	ベース枠		アジャスト枠	
	吊元側	戸先側	吊元側	戸先側
切断量	<p>●両端の切断量 枠高さ2500 mm：各50 mm以内 枠高さ2700 mm：各100 mm以内</p>	<p>●上端の切断量 枠高さ2500 mm：100 mm以内 枠高さ2700 mm：130 mm以内</p> <p>●下端の切断量 原則、切断禁止※¹</p>	ベース枠 吊元側と 同方向・ 同量を切断	ベース枠 戸先側と 同方向・ 同量を切断
注意	<p>❗ 枠の両端から均等に切断してください。</p>	<p>❗ 枠の上端のみを切断してください。</p> <p>※¹ ⚠ 枠の下端を切断する場合は、ストライクの高さ位置が変わるため、扉に取り付けるケースロックの高さ位置も変更してください。</p>	❗ 6つのねじ穴の位置が合うように、ベース枠と同じ長さで切断してください。	

※現場調整が必要な場合もございます。

1-1 枠の取り付け

① 取り付けイメージ

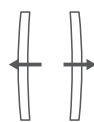


スペーサー（お客様手配）には
柱幅と同じ寸法の、乾燥した合板を使用します。

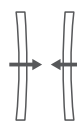
開口部の寸法に応じて各ねじ止め部分にスペーサーを入れ
枠の水平・垂直を出してください。

⚠ 注意

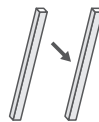
❗ 下記のように枠が変形しないようにする。
枠が変形すると、扉の取り付けを正しく行うことができません。



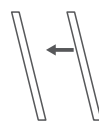
タイコ



ツツミ



たおれ



傾き



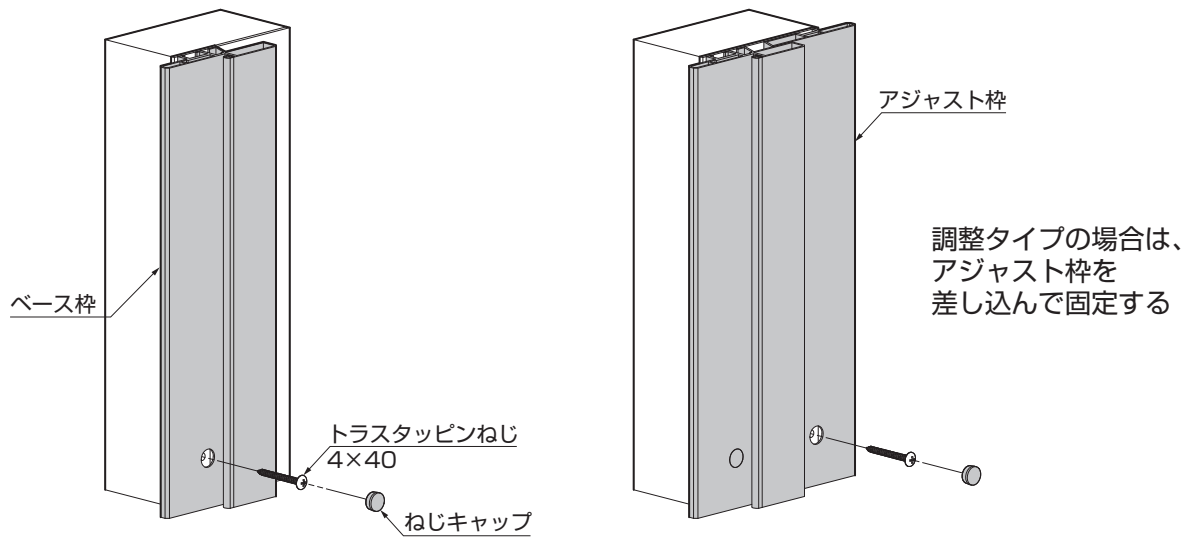
ねじれ



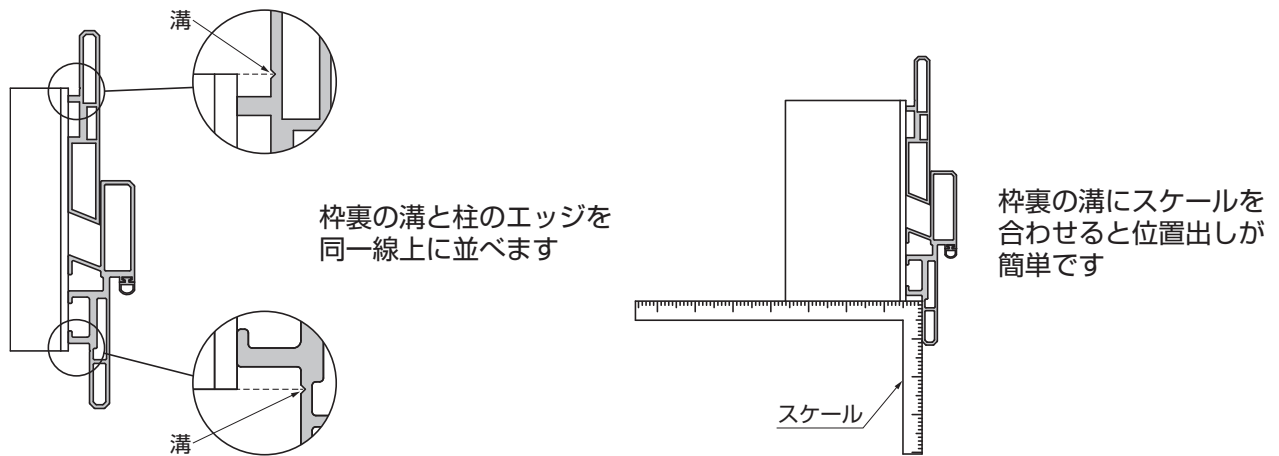
施工手順

1-2 枠の取り付け

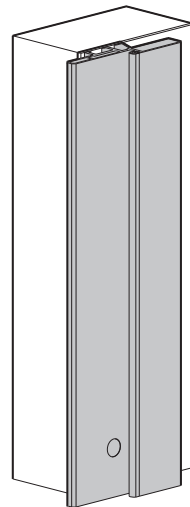
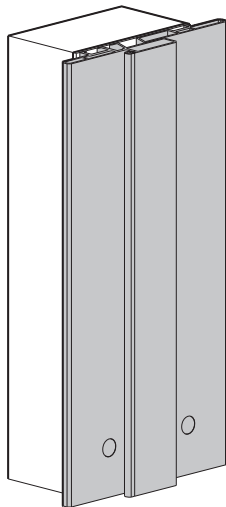
2 柱にベース枠・アジャスト枠を固定する



位置決めポイント



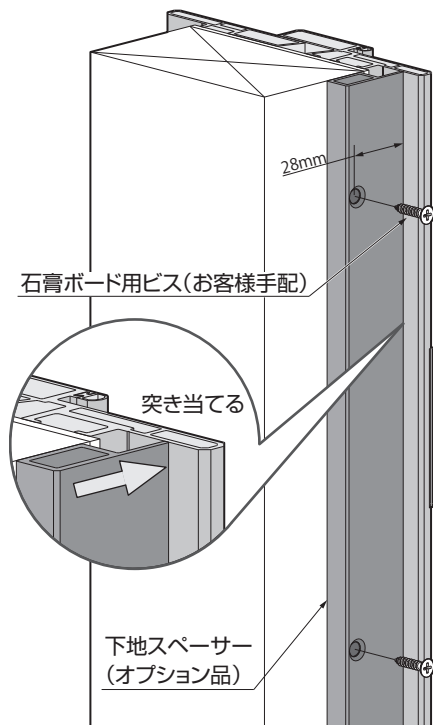
3 取り付け完了イメージ



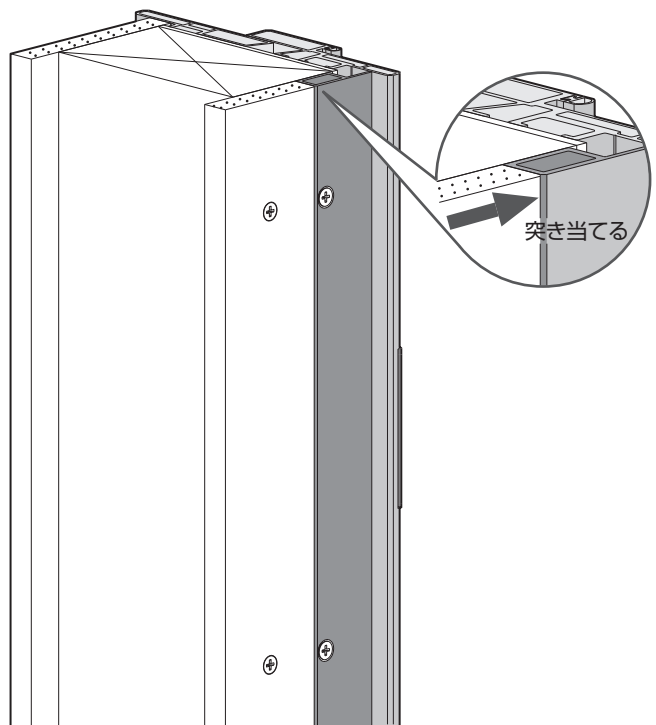
2 下地スペーサーの施工

■戸先側（調整タイプ・クロス巻き込み枠タイプ 共通）

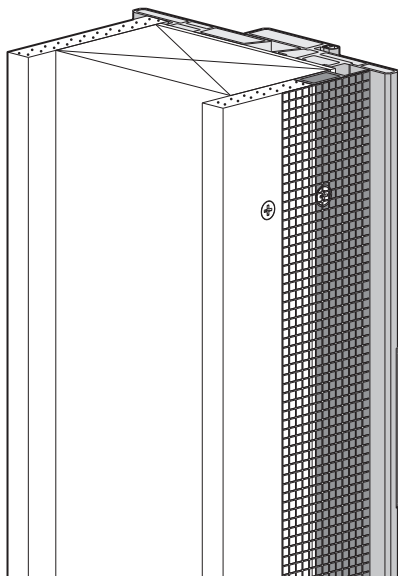
① 枠に下地スペーサー（オプション品）を突き当てて、固定する



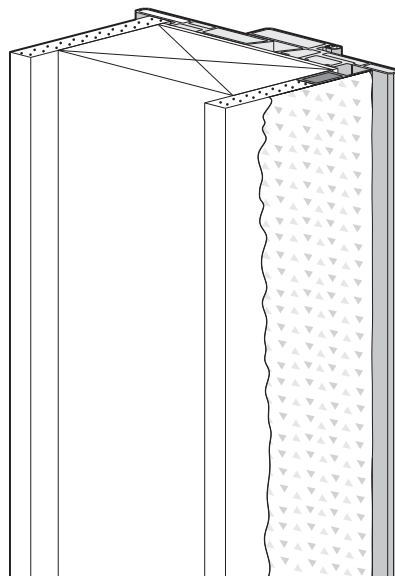
② 下地スペーサーに石膏ボードを突き当てて、固定する



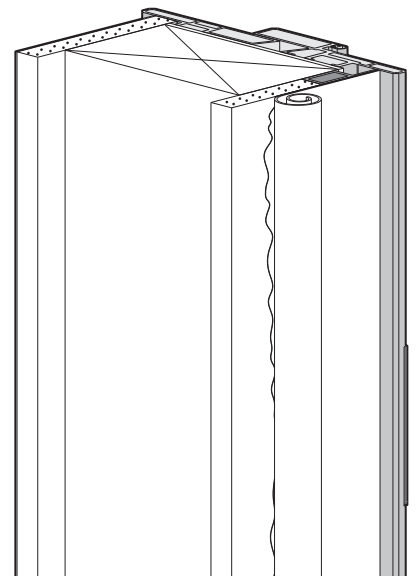
③ メッシュテープを貼り付ける



④ 境目全体にパテ処理を施す



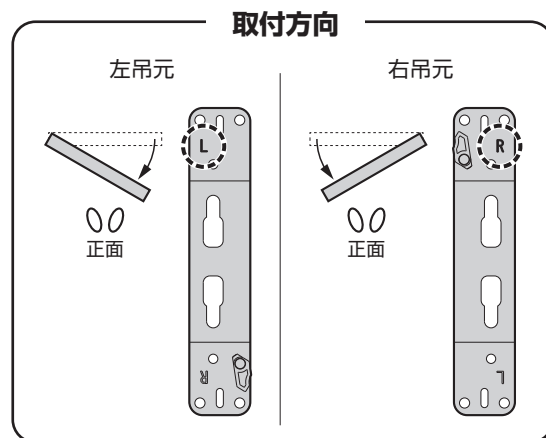
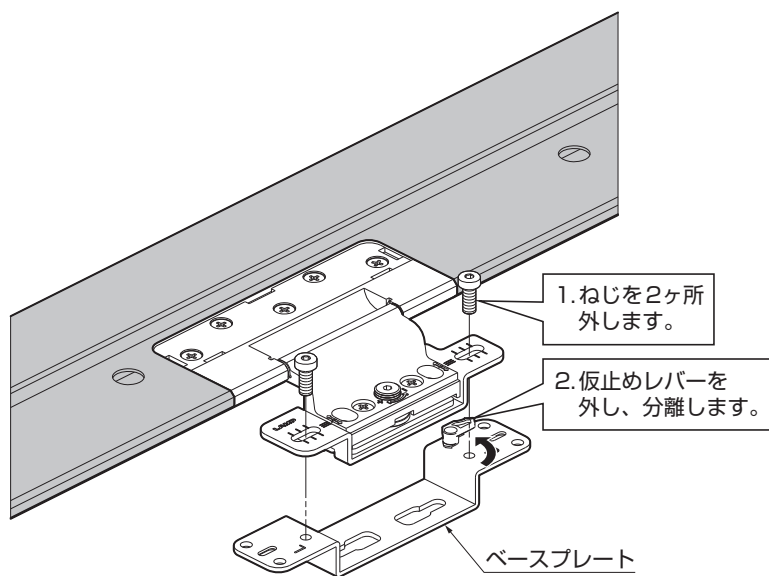
⑤ クロスを貼り付ける



施工手順

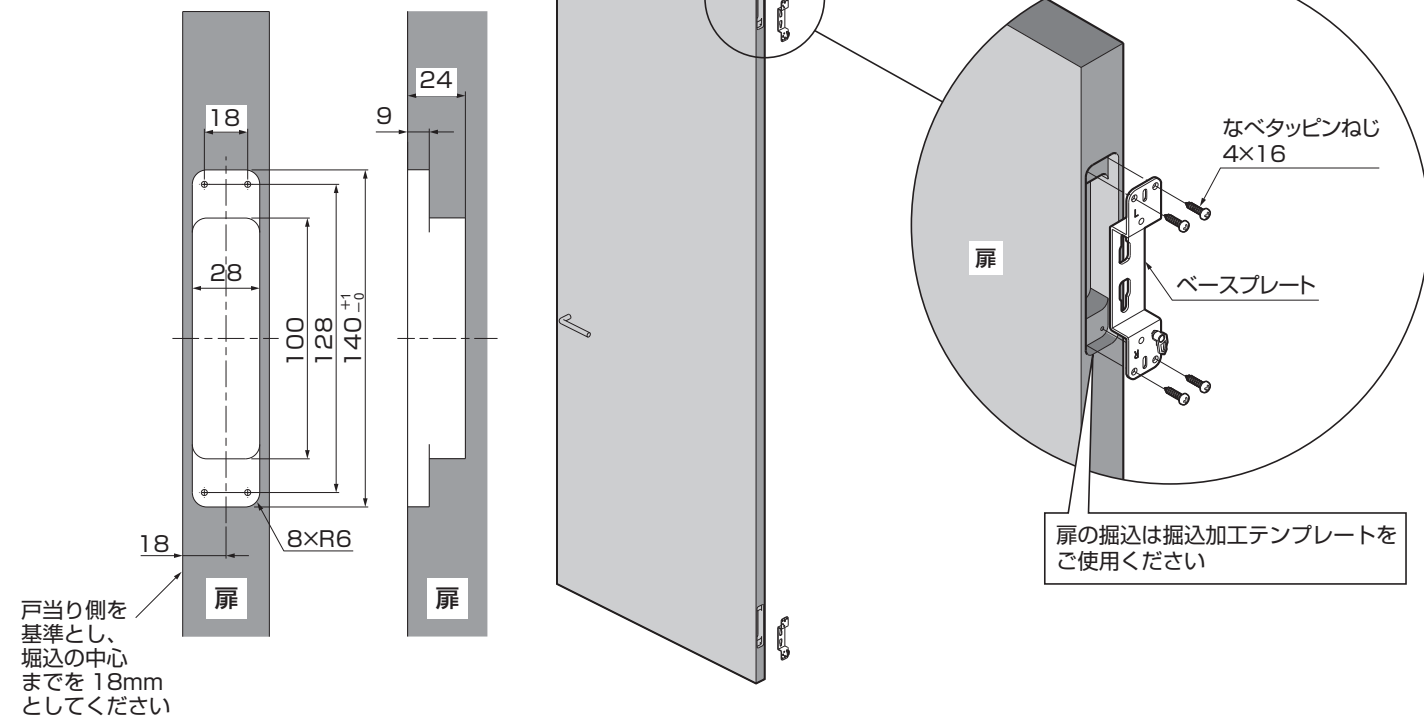
3 丁番・扉の下準備

1 丁番からベースプレートを取り外す



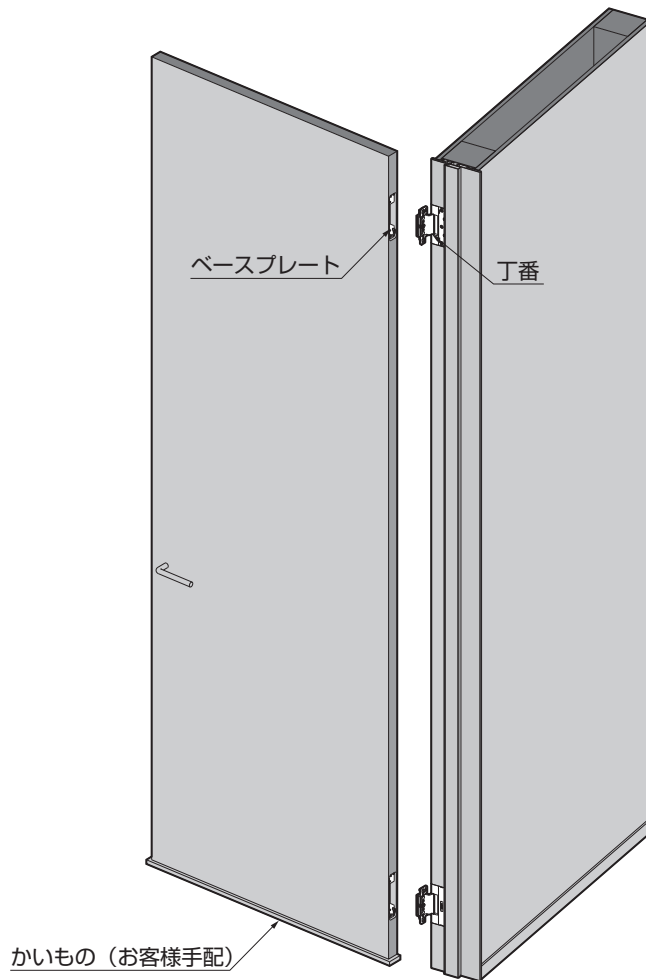
2 ベースプレートを扉に取り付ける

扉加工図



4-1 扉の吊り込み

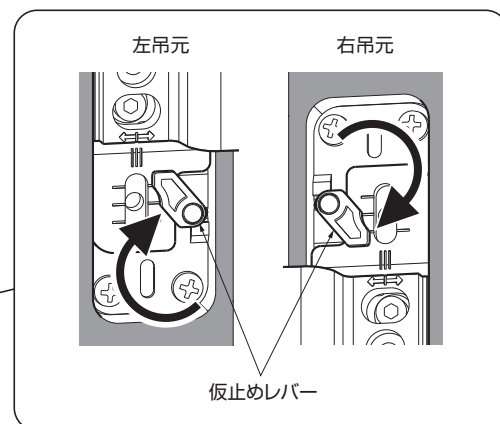
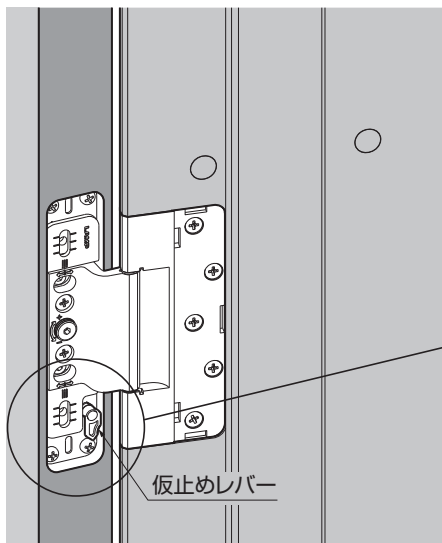
- 1 かいもの（お客様手配）を扉の下に置き、
丁番とベースプレートの高さを合わせる



⚠ 注意

- 1 2人以上で作業をしてください。
扉の落下・転倒などだけがをする
おそれがあります。

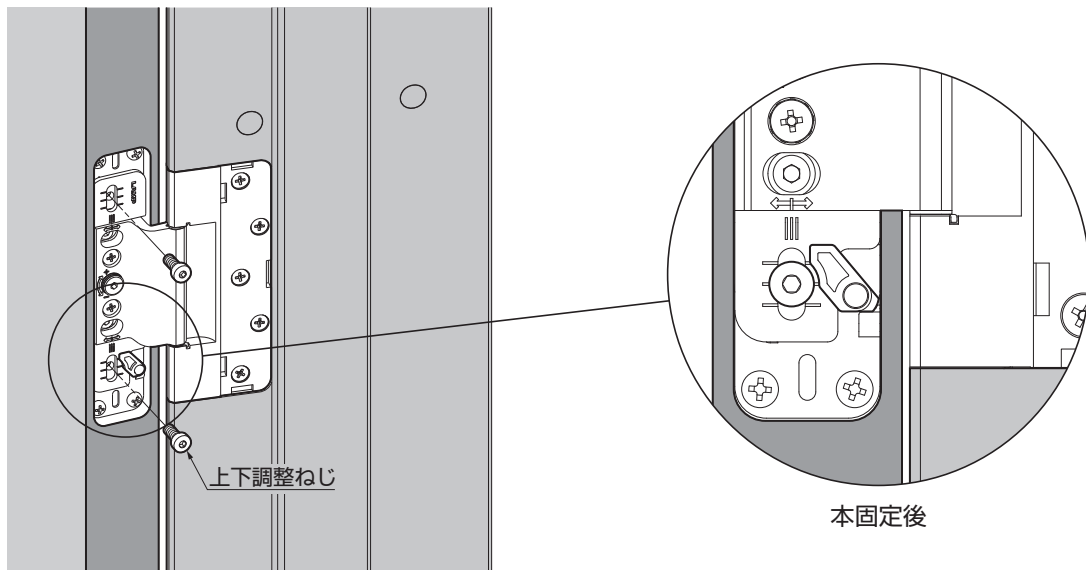
- 2 扉を移動して丁番をベースプレートに差し込み、
仮止めレバーで仮止めする



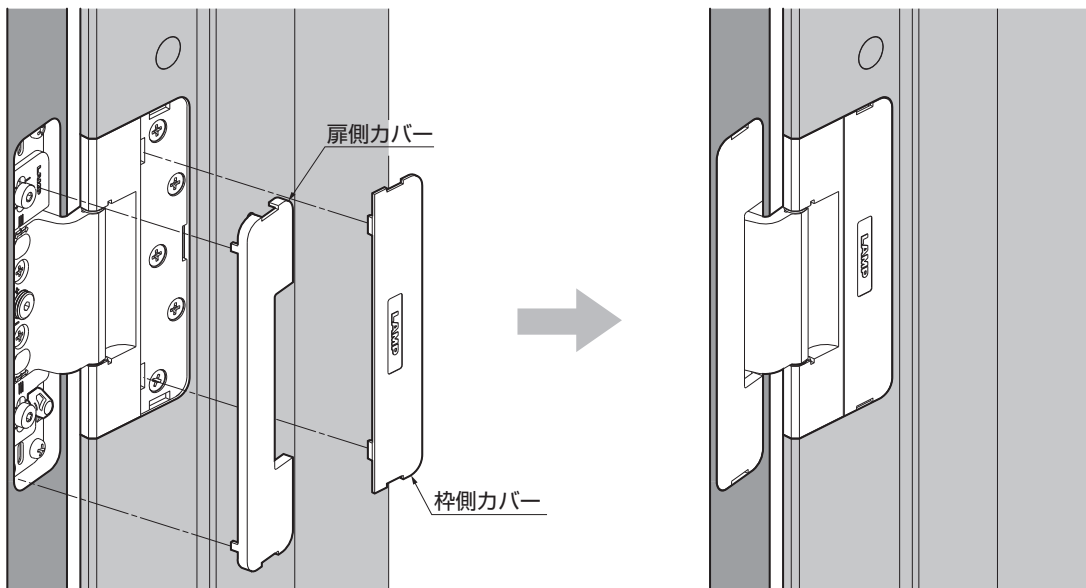
- ※すべての丁番を仮止めします。
本固定前ですので、扉の開閉はしないでください。

4-2 扉の吊り込み

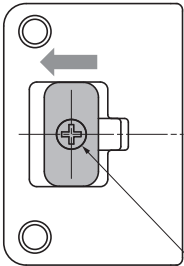
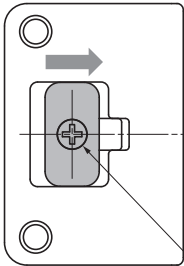
3 上下調整ねじを締め、扉を本固定する



4 丁番の位置調整（次ページ参照）を行い、カバーを取り付ける

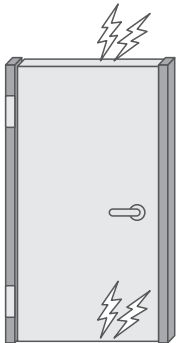
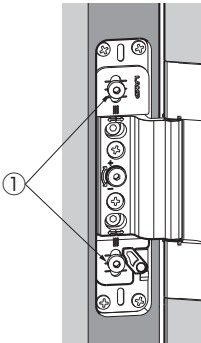
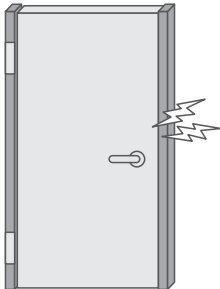
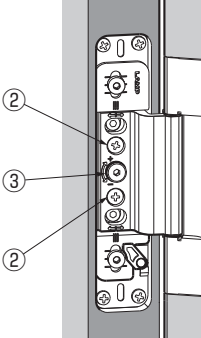

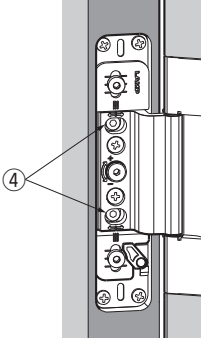


■ストライク

ラッチがガタガタする	ラッチがかからない
 <p>奥につめる</p> <p>ねじを回す</p>	 <p>手前によせる</p> <p>ねじを回す</p>

※ねじは無限回転のため、回し続けると可動部は折り返します

■丁番

	現象	対処方法
上下調整	 <p>扉が床と擦れる または 天井と擦れる</p>	<ol style="list-style-type: none"> 上下調整ねじ①を約半回転ゆるめる 扉を最適位置へ調整する ゆるめたねじを締める ※推奨3.5N・m <p>【調整範囲】 -4~+4mm</p> 
左右調整	 <p>扉戸先と枠が当たる</p>	<ol style="list-style-type: none"> 左右調整固定ねじ②をゆるめる 左右調整ねじ③を回して調整する ねじ②を締める ※推奨1.5N・m <p>【調整範囲】 -2~+2mm</p> 
前後調整	 <p>扉が戸当りに接触しすぎている</p>	<ol style="list-style-type: none"> 前後調整ねじ④を約半回転ゆるめる 扉を最適位置へ調整する ゆるめたねじを締める ※推奨3.5N・m <p>【調整範囲】 -1~+1mm</p> 

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。